

平成 27 年 1 月 8 日

1 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、皆伐施業が増加し引続き順調。入荷量は平年並。荷動きは年末から一部材種の応札数が増加するなど好転の兆し。スギは柱材・中目材ともに堅調な引合いが続く。ヒノキも弱かった柱材の引合いが戻りつつあり中目材も順調。丸太価格は年末に一部製品で品薄感が出るなど、製品相場の潮目が変わる動きが見られ、丸太についても年末の市では引合いが強まり、今後の市況動向に期待が持てる状況。スギは柱材が強保合で中目材は保合、ヒノキが柱材は弱保合で中目材は保合。

群馬の製材工場の操業状況は順調。製品の販売は、製品市場への出荷が初市及び年末の在庫整理で一巡。プレカットへの販売は年末の受注残も含め順調。製品在庫は多少増えたが、スギ柱・母屋、ヒノキ母屋など角類が品薄。原木は年末に出材が増え手当は順調だが、一部で雪の影響が懸念。例年、この時期の原木市況は下落傾向だが今年是比较的安定。原木在庫は十分な手当が進み、運搬も順調に進行。製品価格は変動少なく安定しているが、一部柱、母屋で多少の値上観。

2. 米材

米国産米マツの輸出丸太 1 月価格は、日本・中国ともに引合い低調で据置。堅調な住宅着工により米国国内向け原木販売は引続き好調。港頭在庫は年末に払底したが、新年早々輸出元は精力的に在庫積み増し。ウェアハウザー社の 1 月積み対日米マツは前月据置、尺上材は \$ 890、尺下材 \$ 840 (推定) で決着。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の大手港湾製材工場は通常の操業。米国西海岸の港湾労使交渉は長期化し、膠着状態が続く中連邦政府は調停人を指名し早期解決を模索。

米製材品の TLT(東京木材埠頭) 12 月の入荷量は 27.1 千 m^3 で前月比 11.5%の増、出荷量は 31.8 千 m^3 で同 12.8%増、在庫量は 41.1 千 m^3 で同 10.1%減。産地情勢はランダムレングス紙 15 種平均価格が 11 月末に下げ止まり、その後上昇を継続中。特に SYP の市況が好調。DF 小角 J-grade の 1-2 月積価格は \$ ベースで横這い、角 \$ 440-455/ m^3 、垂木 \$ 460/ m^3 前後のレベル。SPF 2×4J グレードは小幅下げで \$ 510/Mfbm 前後。12 月のプレカット工場の稼働状況は全体的に良好、

一般流通の動きも良好で品薄のアイテム多い。TLT の在庫量は引続き減少中で、この4ヵ月 34 千 m^3 減、北欧材も在庫が 20 千 m^3 を切り、この3年間で初めての状態。

3. 南洋材

サバは雨多く原木出材はスローダウン。輸出需要が堅調で丸太価格は横這い。今後旧正月を控え製品の生産量は減少するが、国内需要の当用買いムードを受け、注文も少なく全体的に低迷。サラワクは雨期入りで伐採が低調な中、不法伐採取締強化の影響で原木出材は低調。産地は需要国の回復を待っているのみで、原木価格は横這い。PNG ソロモンも天候不良で伐採は低迷、価格は変わらず。南洋材丸太は入荷が微増し、出荷、在庫ともに横這い。製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品は為替暴落による価格上昇の影響大きく、荷動きは当用買いが続き全体的に低迷。

4. 北洋材

ロシアシベリア地方のアカマツの伐採は順調で出材量も豊富。ルーブル安により現地売値が 20%上昇したため日本への原盤、製品価格のオファー単価は下がらない状況。富山新港の12月の丸太入荷はエゾマツ 1.9 千 m^3 で、原盤入荷は 5.2 千 m^3 。在庫は 1.0 ヶ月前後。価格動向は、丸太はアカマツ・エゾマツ・カラマツともに先月同様弱含み、製材品は為替変動による単価アップが通らずほぼ横這い。荷動きは丸太が需要減で不調、製材品は現地完成品の入荷減で胴縁、ヌキ製品がやや好調。国内の北洋材製材工場は不採算。稼動状況は生産減続く。受注状況は低価格品の受注中心でメインの製品は相変わらず低調。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は横這いだが、大雪の影響で供給は今後ややタイトと予測。ロシア材はルーブル安が反映されず横這い、米材は強含み横這い、南洋材は現地の賃金上昇と集材難から強含み。11月の国内総生産量 22.9 万 m^3 のうち針葉樹合板は 21.4 万 m^3 、出荷量は 20.6 万 m^3 で、搬送トラックの不足から3か月ぶりに出荷量が生産量を下回った。在庫量は 22.7 万 m^3 と増え、再び生産量、出荷量を上回る。販売価格は、12月に小幅値上げとなったが、今後の需要動向や在庫量を勘案すると大きな値戻しは期待できず、暫くは綱引き状態が続くと思われる。

国産針葉樹合板は11月を底値に小幅ながら価格は上昇。しかし、11月の値上げアナウンスによる仮需発生に物流停滞が加わり、12月価格のデリバリーはこれから。例年に比べ受注残は少ない状況。輸入合板は円安による更なるコスト

アップで値上げは浸透しているが、需要が低迷しており流通は厳しい商いが続く。先行き針葉樹合板の物流停滞は、需要動向から予想外に早く収束すると予測。価格はメーカーが唱えるほどの値戻しは難しく、小幅の上昇で止まると予想。輸入合板は今後も強めの推移となるが、スピード感は無くゆっくりと進む模様。ラワン合板の2.5mmB品、ノンJAS品、5.5mmで品薄感続く。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港量は通常の50%と少なく、国内メーカーの在庫調整が進む。1月からは為替が1€140円後半のものが入港するため、仕入れ価格は大幅にアップの方向。国産集成材の12月受注は、値上観から多少の駆け込みが見られ順調。販売はプレカットの仕事量薄く、物件数も少ないため、品不足は2月で落ち着くと予想。在庫は少なく納期は2週間以上。価格は柱、間柱、梁桁とも値上げ傾向で、1月は柱3,000円/m³の値戻し。輸入集成材は東京港の港頭在庫が記録的に少ない状況。3ヶ月毎の契約では為替の動きが大きく、リスクヘッジから短納期の国内メーカーにオファー、その結果輸入材は4月入港まで少在庫状態が続く見通し。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、年明けすぎ、ヒノキともに動きが一層停滞。造作材はリフォーム需要中心で仕事少ない中、建具用の秋田、吉野産すぎ桁平割が順調。外材の構造材は、需要の伸びが期待薄で、港頭在庫激減状態でも逼迫感が見られない。造作材は米ヒバ、スプルース、ピーラーの良材が品薄で引合い多い。販売動向は買方の手持ち仕事量が少なく、特殊品を除き必要当用買いに徹している。景気回復、経済効果が全く見られず、3月ぐらいまではこの状態が続くとの見方多い。

8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木保合、米ツガKD角、平割保合、45×105×3m、4mは品薄で強保合、SPF保合。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ強保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合、輸入合板は強保合。床板・フロアの低価格品強保合。プレカット工場の受注状況は多少改善。工務店は新築物件少なく厳しいが、リフォーム需要で小口ながら動きあり。

1月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↗	↗	↘
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	↘		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇
 ↗ 増加・上昇
 → 横ばい
 ↘ 減少・低下
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
(国内挽き)		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→